



茅ヶ崎市記者発表資料  
 2020年7月3日  
 消防本部警防救命課 救命担当課長 小山朋弘  
 電話0467(82)1111 内線4141

## 2020年上半期の救急出動件数が減少 新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛や健康管理が影響

市内における年間の救急出動件数が毎年増加傾向である中で、2020年1月から6月までの上半期は、救急出動件数が前年同時期に比べ734件（約13%）減の4,949件となりました。新型コロナウイルス感染防止対策による外出自粛、手洗い、うがい、マスク着用の徹底など、市民ひとりひとりの健康管理の積み重ねと考えられます。

消防本部は、救急体制を万全に整え「安全・安心なまちづくり」を目指し、「感染まん延防止」、「救急車の適正利用」、「熱中症予防」の啓発活動を引き続き実施します。

### 1 救急出動の状況

上半期の救急出動件数は4,949件で、令和元年上半期に比べて734件減少しました。

新型コロナウイルス感染症はまだ終息していませんので、マスクの着用、定期的な換気、手洗い、人と人との間隔を空けるなど、引き続き「感染防止」に努めてくださるようお願いいたします。

上半期の救急出動件数比較

	救急出動件数(件)	救急搬送人員(人)	
			軽症
2019年 (1月～6月)	5,683	5,358	2,290
2020年 (1月～6月)	4,949	4,647	1,968
前年比	▲734	▲711	▲322

※ 救急搬送人員は病院へ搬送した人数です



### 2 救急車の適正な利用

今回、救急出動件数は減少しましたが、軽症者の搬送比率が全体の約42.3%を占め、依然として高い状況です。緊急を要する重症者の救急搬送に影響を及ぼさないためにも「救急車の適正利用」にご協力をお願いします。

### 3 夏場の熱中症予防

夏場のマスク着用により体温調節が難しくなる可能性があります。

「熱中症予防」のため、こまめな水分補給やエアコンを使用するなど暑さを避ける対策もあわせてお願いいたします。